



ふ れ あ い
市 長 室



南あわじ市長 守本 憲弘

パラリンピックと認知症月間に思ったこと

この夏、パリ・パラリンピックで、日本人選手は数々のメダルを獲得し、障害を持ちながらも、本人の意欲と周囲のサポートで、高い目標を持って充実した人生を歩むことができることを示していただきました。

そして、9月は「世界アルツハイマー月間」です。日本でも今年施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」で、9月を「認知症月間」と決めました。

国によれば、2025年には65歳以上の5人に1人が認知症を発症すると推計されており、とても身近なものになっています。認知症は、加齢によるもの忘れとは違い、病気などで脳に機能しない箇所ができることでさまざまな障害が起こり、およそ6カ月以上、日常生活に支障が継続している状態のことを言います。

しかし、認知症と診断されても、何も分からなく

なったり全ての事ができなくなったりするわけではありません。また、運動や生活習慣病の予防、バランスの取れた食事、社会参加などで、認知症になるのを遅らせたり、進行を緩やかにしたりすることができます。

南あわじ市では、先月のアルツハイマー月間イベントとして、65歳未満でも発症する「若年性認知症」の実話に基づいた映画を上映しました。就労や経済的負担、育児の問題など八方塞がりになるかと思った主人公でしたが、記憶力を補うノートの活用や、周囲の理解で、幸せな生活を取り戻していく姿が印象的でした。

また、本市でも、認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」の養成講座を実施しており、延べ6,500人の方が受講されています。さらに、「チームオレンジみなみあわじ」として、地域の見守り活動や普及啓発、認知症の方やその家族の希望を叶える活動を進めるため、「認知症サポーターステップアップ講座」も実施しています。また、認知症の方の家族が、介護の悩みを話したり、体験を聞いたりできる交流の場として「認知症を支える家族の会 スマイル」も開催されています。

現実の社会は、多様な特質を持つ人々の集まりです。認知症についての正しい理解と知識を身につけ、自分にできることを実践していく取り組みは、認知症にとどまらず、全ての人々が幸せに暮らすことができる地域社会づくりにつながるものと感じています。

地域創成生涯学習講座2024
開講のお知らせ

吉備国際大学では地域の皆さまを対象に「地域創成生涯学習講座」を開催します。本年度は「育種」および「植物病理」分野について、全5回の講座を開講予定です。お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

会場 第1・2・4・5回 南あわじ志知キャンパスC棟3階大講義室、第3回 同B棟3階B301

参加費 無料（事前申込制）

定員 第1・2・4・5回 40人、第3回 24人

申込方法 電話またはFAX（FAXでのお申込みの際は申込用紙をご利用ください）

申込期限 各回開催前日の17:00まで

申込み・問合せ先

同大学南あわじ志知キャンパス 地域連携センター

☎ 0799-42-4708（平日の9:00～17:00）

📠 0799-42-4701（土日祝も受付可）

✉ kiu-aw@kiui.ac.jp



《開講講座のご案内》

第1回「生物の毒」

日時：10月8日（火） 10:30～11:30

講師：農学部海洋水産生物学科 教授 氷見 英子

第2回「植物のお医者さんについて」

日時：10月15日（火） 10:30～11:30

講師：農学部地域創成農学科 教授 相野 公孝

第3回「植物に病気を起こす微生物をみてみよう」

日時：10月25日（金） 10:30～11:30

講師：農学部地域創成農学科 教授 村上 二郎

第4回「作物改良の過去／現在／未来」

日時：10月30日（水） 10:30～11:30

講師：農学部地域創成農学科 教授 桧原 健一郎

第5回「なぜ、植物工場産？」

日時：11月6日（水） 10:30～11:30

講師：農学部地域創成農学科 講師 許 冲



研修会で講義を行う三島さん・川寄さん

ヤングケアラーに
についての相談窓口

南あわじ市
こども家庭センター
（家庭児童相談室）
☎ 43-5239

8月29日、市地区公民館で南あわじ市民生委員児童委員連合会全体研修会が開催され、委員ら約120人がヤングケアラーについて学びました。

ヤングケアラーとは、ケアを要する家族がいるために、家事・介護・きょうだいの世話・通訳などの大人が担うようなケア責任が伴うサポートを行っている子ども・若者たちをいいます。

研修会では特定非営利活動法人ふうせんの会の三島俊祐さんと川寄大介さんによる講義が行われました。ふうせんの会は、ヤングケア

ラーの経験がある人や専門家が集まってできた団体で、講師を務めた2人もヤングケアラーの経験があります。川寄さんは、「周囲の人がヤングケアラーに気付くことが重要。継続的な声掛けを行い、いざというときに相談できる関係性を構築することが大切です」と話しました。

住民がそれぞれのニーズに応じた福祉サービスを得られるよう、関係機関等へつなぐ役割を担う民生委員児童委員が、ヤングケアラーに対して何ができるのかを考える機会となりました。



守本市長（右）と祝状を手にした守本さん

100歳おめでとう
長寿を祝って市長が訪問

9月2日、守本市長が、市内に居住で令和6年度中に100歳を迎える人を訪問し、祝福しました。

市長から祝状を手渡された守本八重子さん（福良）は、「趣味を楽しむことと甘いものを食べることが好き」と話していました。

今年度、市内で100歳を迎える人は、男性6人、女性30人の計36人です。

訂正とお詫び

広報9月号6頁に掲載しました「子ども議会開催」の記事で、藤本音和さんの名前に誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。

「鳴門海峡の渦潮」を世界遺産に！
第6回
3海峡クリーンアップ大作戦
参加者大募集

鳴門海峡の渦潮を世界遺産に登録する運動の一環として、淡路島を取り巻く鳴門海峡、紀淡海峡、明石海峡の清掃活動を実施します。

日時 **10月26日（土）**
午前10時～正午（受付午前9時～）

場所 伊弉海岸・阿万海岸

※駐車場に限りがあります

※当日参加可能

※詳しくは実行委員会ホームページをご覧ください

☎ 同実行委員会事務局 ☎ 080-8541-0385

